

褚良才 著

中国古代间谍史话

中州古籍出版社



中州古籍出版社

中国古代间谍史话

褚良才 著

D691.6

C902

0604193

中国古代间谍史话

褚良才 著

责任编辑 钟 林 责任校对 郑 闽

中州古籍出版社出版发行

郑州市农业路 73 号 邮政编码 450002

新华书店经销 郑州文华印刷厂印刷

850×1168 毫米 32 开本 15.75 印张 302 千字

1998 年 1 月第 1 版 1998 年 1 月第 1 次印刷

印数:1—6200 册

ISBN 7-5348-1627-0/K · 619 定价:18.00 元

前 言

间谍，一个幽秘而又神奇的词。

然而，何为“间谍”？历来说法纷纭，莫衷一是，成为一大史谜。但是如果不能准确地划定“间谍”一词的内涵及外延，那么其结果或“鱼目混珠”，或“褒贬各异”，甚至于“南辕北辙”。因此，破译其谜底，就成其为先决的首要条件。

综合古今中外各家之说，并依据历朝历代的间谍案例，“间谍”一词定义的义务拟应这样确定：

间谍，中性词。指既对国外，也对国内；既对敌方，也对己方，受情报机关或雇主遣用，以合法身份作为掩护，秘密打入或就地潜伏在对方（指为其工作一方的对立面）内部或后方（统治区），从事获取、传递各方面情报并进行监视、离间、破坏、刺杀对方等隐蔽活动者。

由上定义，我们可对“间谍”一词产生两点新的认识：一是间谍与一般的侦察有所区别，二者不可混同。从战国文献《墨子》中将二者明显分别叙述及后世兵书多分列“间谍”与“斥候”专章可证明此说。二是“间谍”一词在字的构造及本义等方面都是一个中性词，本无褒贬之义。正如被视为

正统史书的《二十四史》中专为间谍立传，历代官修、私修类书列有“间谍”篇目及现代执行特殊任务者为特务员、特务连等一样，不见丝毫褒贬之迹。因此大可不必“谈间色变”，视为异端。既然军事斗争中“兵者，诡道也”、“兵不厌诈”之“诡”、“诈”都被全社会公认为作战之道的法则，那么又何必去忌讳一个“间”字呢？

揭开了“间谍”的谜底，划立了“间谍”一词的义界，这才能够确定在中国古代历史上何时产生间谍；何人为间谍；何事为间谍活动；何法为间谍谋略；何说为间谍理论；何组织为间谍机构；何技术为间谍之术；何名为间谍称谓等，从而科学地对大量史籍材料进行准确地择录和筛选，避免出现“鱼目混珠”或“褒贬各异”等弊端。

为了获得对中国古代几千年光怪陆离、惊险曲折的间谍活动一个广阔视野；把握漫长史河中间踪谍影的纵横脉胳；透视出间谍发展史的全程轨迹，本书在结构上采用“直角型座标”的框架，力图更形象地展示出历代间谍活动的多方画面，为读者创造出这一领域的一个“立体大观”：

以年代先后为纵向的纵座标是：世界之最的间谍萌芽时期（夏、商）——趋于成熟的发展时期（周、秦、汉、三国、两晋、南北朝、隋、唐、宋）——全面展开的鼎盛时期（元、明、清）。

以人物、事件等方面为横向的横座标是：

人物——女艾、伊挚、伯嚭、樗里疾、郭开、酈食其、张松、安兴贵、法崧、赵臣……

案例——秦王策反敌臣、赵奢巧用反间、曹操谈笑设间、孝宽编歌除奸、岳飞借刀杀人、孔镛妙计擒贼、清宗超级行间……

谋略——行间之计有：冒名顶替、藏于九天、投石问路、杀人灭口、迷魂色汤等；反间之计有：将计就计、太公钓鱼、察言观色、狡兔之窟、沙里淘金……

理论——世界第一兵书《孙子兵法》、武经七书之一《六韬》、名将名著《李靖兵法》、隐世之作《神机制敌太白阴经》、古代兵学通论《草庐经略》、兵家奇书《兵经百字》、古代唯一的间谍专著《间书》……

机构——三国霸府校事及刺奸屯、唐代察事厅子及进奏院、宋代皇城司、明代锦衣卫及东厂、西厂、内行厂……

技术——窃听、密码、代号、秘语、摹迹、化装、伪装、判断、拆封、密藏……

称谓——邦汨、候奄、间人、谍者、游士、词伺、奸细、细作、耳目、行人、察子、卧内、跳河、两来……

在这千姿百态、五花十色的间谍万花筒中，我们在搜寻、博览大量有关史籍文献的基础上，精心择录和增补了许多精采纷呈的或者是前人从未涉及过的间谍事例。从新的角度，用丰富系统的史料和生动通俗的笔触，对上下五千年的史海谍影，进行“跟踪追击”，并对其予以归纳概括、具体描述和客观评论，以达到“古为今用”的最终目的。

由于本书为“史话”体裁，因此在保持其科学性、史料性和准确性的同时，又努力化难为易，加强其通俗性、知识性

和可读性，以求成为一部雅俗共赏的史话之作。

自古论兵非好战，而今话间为和平。我们企盼历时五年的这本间谍史话，能够对从事政治、经济、军事、外交、安全、公安、历史、文化、考古、语言等领域的专业工作者有所裨益，更期望能为广大读者所喜爱，真诚地为他们提供一本增长知识、启迪智慧、陶冶性情和有益于身心的案头之书。

目 录

前言

第一章 五千年间谍史综览 (1)

 世界之最早的间谍萌芽时期 (3)

 趋于成熟的发展时期 (8)

 全面展开的鼎盛时期 (24)

第二章 著名间谍人物传略 (31)

 女艾 (32)

 伊挚 (34)

 杞子 (37)

 华元 (39)

 太子建 (41)

 要离 (43)

 伯嚭 (47)

 子贡 (51)

 田豹 (57)

张孟谈	(60)
张仪	(63)
樽里疾	(68)
苏秦	(70)
郑国	(75)
郭开	(77)
荆轲	(80)
陈平	(85)
酈食其	(89)
聂一	(92)
张松	(94)
朴泰	(97)
裴矩	(99)
安兴贵	(102)
马景坚	(105)
法崧	(108)
秦桧	(114)
赵臣	(118)
假内江王	(121)
张继庚	(124)

第三章 典型间谍案例探赜..... (127)

殚精竭虑策反敌间..... (128)

酈陵之战中的间谍战..... (130)

假情报部队吓跑强敌·····	(133)
田单的用间术·····	(135)
赵奢以敌间为反间·····	(138)
建立东汉王朝的内幕·····	(141)
反间反为反间害·····	(144)
谈笑间暗藏利刀·····	(147)
载入史册的间书·····	(150)
编造儿歌杀腹患·····	(154)
唐宗堪称用间行家·····	(158)
兵不血刃擒众敌·····	(162)
宋祖不愧用间老手·····	(166)
岳飞妙计破敌间·····	(170)
善用“死间”的韩世忠·····	(175)
真真假假巧设圈套·····	(178)
看门老头骗“皇帝”·····	(181)
招降纳叛擒贼王·····	(184)
阳明子的用间韬略·····	(188)
皇太极的反间杰作·····	(192)
第四章 奇诡的间谍谋略·····	(198)
冒名顶替·····	(199)
嫁祸于人·····	(200)
推入黄河·····	(201)
家中闹鬼·····	(203)

老马识途·····	(205)
出没无常·····	(207)
一箭双雕·····	(208)
暗箭杀人·····	(210)
藏于九天·····	(212)
千金买骨·····	(214)
解衣推食·····	(216)
暮夜无知·····	(218)
封官许愿·····	(219)
隔墙有耳·····	(221)
跟踪蹊迹·····	(223)
生花妙笔·····	(225)
曾参杀人·····	(227)
摇唇鼓舌·····	(229)
隐姓埋名·····	(230)
乔装打扮·····	(232)
独来独往·····	(234)
入境问禁·····	(235)
大智若愚·····	(237)
插科打诨·····	(238)
头顶悬剑·····	(239)
投石问路·····	(241)
钓鱼送猫·····	(243)
推倒油瓶·····	(245)

滥竽充数	(247)
遍地开花	(249)
唱筹量沙	(251)
联姻灭亲	(253)
抓雏引母	(255)
打骂为亲	(257)
诱敌骑墙	(258)
里应外合	(260)
杀人灭口	(262)
挑虎相斗	(264)
螭螂推丸	(266)
疑能生鬼	(268)
量体裁衣	(270)
剖腹藏珠	(272)
迷魂色汤	(274)
螳螂捕蝉	(276)
将计就计	(278)
太公钓鱼	(284)
雁足传书	(286)
项庄舞剑	(289)
开门揖盗	(291)
雨天留客	(293)
察言观色	(295)
养虎防患	(297)

杀鸡儆猴·····	(299)
殃及池鱼·····	(301)
以亲间亲·····	(303)
招降纳叛·····	(305)
狡兔三窟·····	(308)
沙里淘金·····	(310)
以有为无·····	(312)
尽信间不如无间·····	(315)
此地有银三百两·····	(317)

第五章 间谍理论的源流····· (320)

孙子兵法·····	(322)
六韬·····	(328)
李靖兵法·····	(333)
神机制敌太白阴经·····	(337)
杜牧注孙子·····	(341)
虎铃经·····	(344)
翠微北征录·····	(347)
施氏七书讲义·····	(352)
武经七书直解·····	(355)
孙子书校解引类·····	(358)
草庐经略·····	(363)
投笔肤谈·····	(366)
兵经百字·····	(369)

间书.....	(375)
香草续校书.....	(379)
其它二十四种.....	(381)
第六章 神秘的间谍机构.....	(386)
先秦时期.....	(388)
秦汉魏晋南北朝时期.....	(393)
隋唐时期.....	(397)
宋明清时期.....	(402)
第七章 间谍技术窥要.....	(414)
窃听.....	(415)
通讯.....	(417)
密码.....	(425)
代号.....	(433)
秘语.....	(435)
暗器.....	(439)
毒药.....	(442)
摹迹.....	(444)
密写.....	(446)
化装.....	(448)
查验.....	(450)
伪造.....	(451)
辨析.....	(453)

拆封.....	(455)
密藏.....	(457)

第八章 历代间谍称谓..... (459)

邦沟、邦谍	(460)
间、间人、间伏、间使、间探、间谍	(461)
谍、谍者、谍人、谍候、谍贼.....	(463)
游士、游侦	(465)
候、候人、候诃、候正、候奄、候官	(466)
虞候.....	(468)
诃、诃伺	(469)
覷.....	(470)
覷.....	(471)
覷、覷候	(472)
怪.....	(473)
乡导.....	(474)
奸细、奸人	(475)
细作.....	(476)
耳目、眼线、眼目.....	(477)
行人.....	(478)
察子、察事卒、察战、探事卒	(479)
卧内.....	(480)
侦、侦罗、侦谍、侦候	(481)
跳河、两来	(482)

爪探、广探、采探.....	(483)
附录:主要参考引用书目	(484)
后记.....	(488)

第一章 五千年间谍史综览

世界四大文明古国之一的中国，曾在波澜壮阔的人类历史长河中，创造出了许多灿烂辉煌的文明。尤其在被称之为“间谍温床”的军事领域中，更是雄居世界之首。如：世界之最佳的远射武器：夏代的木弩及石箭；世界之最佳的军事建制：商代的左、中、右三军；世界之最佳的军事名著：春秋的《孙子兵法》；世界之最佳的特种部队：春秋的“选锋”；世界之最佳的海军：春秋的吴国舟师；世界之最佳的防御工程：秦代长城；世界之最佳的火攻武器：三国火药；世界之最佳的军事百科全书：宋代的《武经总要》；世界之最佳的武学博士：宋代的何去非；世界之最佳的火炮：宋代的“竹管矛炮”；世界之最佳的多级火箭：明代的“火龙出水”；世界之最佳的飞行器：清代的“飞车”等等。然而，在这五千年奔腾不息的文明史河源头，也伴之以一股不为世人注目、却又对历史的发展起着巨大推波助澜作用的“暗流”，它就被称做“看不见战线”的间谍战与反间谍战。那么，古代中国的间谍活动究竟起源于何时？